

中学校英語科採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採点上の注意	配点			
1	No.1	A	B	C	Ⓓ	各 5 × 6	30	
	No.2	A	Ⓑ	C	D			
	No.3	A	B	Ⓒ	D			
	No.4	A	B	Ⓒ	D			
	No.5	Ⓐ	B	C	D			
	No.6	A	B	C	Ⓓ			
2	A	No.1	It is because their sleeping and waking preference are largely inherited.			内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 4	20
		No.2	It has shown that early birds got higher math scores than night owls.					
	B	No.1	It was to ask passengers to use proper manners when riding trains.					
		No.2	For the interesting harmony between Japanese tradition and modernity.					
3	1	(1)	①	エ		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 4	90
			③	ア				
			④	ウ				
			⑤	イ				
		(2)	自分にはどれほど理解する力があるかを認識していることが何を意味しているかを悟っている人。				4	
	(3)	not			5			
	2	(1)	目の前にあるタスクをやり遂げられる、これからやろうとしていることで良い成果を出すことができるという信念を核とする概念。			5		
		(2)	②	イ		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 4	
			③	ウ				
			④	ア				
			⑤	エ				
	(3)	We need to set a target with clear and short-term benchmarks.			5			
	3	(1)	①	イ		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 5	
③			ウ					
④			ア					
⑤			イ					
⑥			ア					
(2)		lead to a serious decline in the genetic resources which could potentially serve			5			
(3)	イ			5				

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採点上の注意	配点												
4	目的や場面、状況などに応じて何を聞き取らなければならないか、あるいは読み取らなければならないかを判断し、聞いたり読んだりして理解した情報を整理したり、吟味したり、既にもっている知識と照らし合わせて関連付けたりして、必要な情報や考えなどを理解することを意味している。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10												
1	単元の目標 好きなスポーツや音楽などについて、英語で自分の気持ちなどとともに即興で伝え合い、お互いに質問したり答えたりしながら、対話を継続・発展させることができる。	問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	5												
	発話例 A: Do you like music? B: Yes. How about you? A: I like music too. And I'm a rock fan. Are you a rock fan? B: Yes, I am. I'm in the band. A: That's nice. What do you do in the band? B: I play the guitar. It's exciting. Are you in the band too? A: No, I'm not. But I like playing the guitar. B: Oh, I see. When do you play it? A: I play it every Sunday. B: Me too. Let's play it together!	問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	15												
5	2 学習活動 <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>学習活動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>○本単元の目標を知り、学習内容の見通しをもつ。 ・本単元の目標を知る。 ・教師が示した評価基準を基に、伝える内容を自ら考える。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>○お互いの好きな食べ物について、既習表現を用いて英語で伝え合う。 ・自分の好きな食べ物とその理由について、相手に伝える。 ・聞き手は相づちを打ったり、自分の気持ちを伝えたりする。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>○ペアを変えて、好きな音楽やスポーツとその理由について英語で伝え合う。 ・お互いの好きなものに関連のある質問をしたり、質問に答えたりして会話を継続・発展させる。 ・会話を継続・発展させるのに難しかった表現について、どのように表現すればよいかを意見交換する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>○ペアを変えて、好きな教科とその理由について英語で伝え合う。 ・質問に対する相手の答えを受けて、さらに自分の情報を加えて伝える。その際、既習表現に加えて新たな表現を用いて、会話を継続・発展させる。 ・会話を継続・発展させるために、より適切な表現について意見交換する。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>○ペアを変えながら、自分の好きなものについて既習表現を使って、英語で伝え合う。 ・生徒が評価票を基に、お互いの良かった点などについて意見交換する。</td> </tr> </tbody> </table>	時間	学習活動	1	○本単元の目標を知り、学習内容の見通しをもつ。 ・本単元の目標を知る。 ・教師が示した評価基準を基に、伝える内容を自ら考える。	2	○お互いの好きな食べ物について、既習表現を用いて英語で伝え合う。 ・自分の好きな食べ物とその理由について、相手に伝える。 ・聞き手は相づちを打ったり、自分の気持ちを伝えたりする。	3	○ペアを変えて、好きな音楽やスポーツとその理由について英語で伝え合う。 ・お互いの好きなものに関連のある質問をしたり、質問に答えたりして会話を継続・発展させる。 ・会話を継続・発展させるのに難しかった表現について、どのように表現すればよいかを意見交換する。	4	○ペアを変えて、好きな教科とその理由について英語で伝え合う。 ・質問に対する相手の答えを受けて、さらに自分の情報を加えて伝える。その際、既習表現に加えて新たな表現を用いて、会話を継続・発展させる。 ・会話を継続・発展させるために、より適切な表現について意見交換する。	5	○ペアを変えながら、自分の好きなものについて既習表現を使って、英語で伝え合う。 ・生徒が評価票を基に、お互いの良かった点などについて意見交換する。	問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	15
	時間	学習活動													
1	○本単元の目標を知り、学習内容の見通しをもつ。 ・本単元の目標を知る。 ・教師が示した評価基準を基に、伝える内容を自ら考える。														
2	○お互いの好きな食べ物について、既習表現を用いて英語で伝え合う。 ・自分の好きな食べ物とその理由について、相手に伝える。 ・聞き手は相づちを打ったり、自分の気持ちを伝えたりする。														
3	○ペアを変えて、好きな音楽やスポーツとその理由について英語で伝え合う。 ・お互いの好きなものに関連のある質問をしたり、質問に答えたりして会話を継続・発展させる。 ・会話を継続・発展させるのに難しかった表現について、どのように表現すればよいかを意見交換する。														
4	○ペアを変えて、好きな教科とその理由について英語で伝え合う。 ・質問に対する相手の答えを受けて、さらに自分の情報を加えて伝える。その際、既習表現に加えて新たな表現を用いて、会話を継続・発展させる。 ・会話を継続・発展させるために、より適切な表現について意見交換する。														
5	○ペアを変えながら、自分の好きなものについて既習表現を使って、英語で伝え合う。 ・生徒が評価票を基に、お互いの良かった点などについて意見交換する。														
	即興で伝え合うことのできるようになるための指導上の工夫点 ・扱ったことのあるテーマを取り上げるなど、既習事項等を活用させる。 ・伝え合う活動を継続的にやり、生徒が自分で言いたいことを即興で表現できる範囲を徐々に拡大していく。 ・会話を継続・発展させるために、①相手に聞き返したり確かめたりする、②相づちを打ったり、つなぎ言葉を用いたりする、③相手の答えを受けて、自分のことを伝える、④相手の答えや自分のことについて伝えたことに「関連する質問」を付け加える、などをさせる。 ・自ら話のきっかけを作ったり、対話を始めたりすることや、会話の流れに応じて、関連する多様な質問を即座にしたりする場面を様々な言語活動の中に設定する。 ・活動中の言語使用について具体的にフィードバックしたり、活動後に生徒が自分の使用した英語について振り返り、場面に応じた適切な表現方法を確認する機会を与えたりする。 ・小学校での経験を生かし、伝えようとする意欲を大切にするため、会話を継続させようとしている生徒を認めたり、良いモデルとして全体で共有したりする。	3つ書かれていればよい。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	15												